

新居浜市政策懇談会 ワーキンググループ（第5部会 環境衛生）第3回会議 議事録

1 開催日時 令和2年1月27日（金） 14:00～16:00

2 開催場所 清掃センター管理棟3階 会議室

3 出席者

委員	にいほま環境市民会議 会長	太田 初
〃	新居浜市農業協同組合 総務部部長	黒瀬 文生
〃	いしづち森林組合 副組合長	河野 憲照
〃	新居浜建設業協同組合 事務局長	飯尾 和之
〃	新居浜商工会議所 事務局長	藤田 武
〃	新居浜市食生活改善推進協議会 副会長	千葉 晶子
〃	新居浜市連合自治会	三並 保
〃	新居浜市女性連合協議会 会長	宮前 港
〃	えひめ産業資源循環協会西条地区 副会長	高橋 辰夫
職員	環境保全課 課長	石井 公博
〃	ごみ減量課 課長	加藤 大和
〃	環境施設課 参事	松木 伸
〃	環境保全課 係長	岡部 由美
〃	環境保全課 係長	松井 伸二
〃	環境保全課 主査	津村 亮
〃	環境保全課 主任	土井 邦彦
〃	ごみ減量課 係長	藤井 幹大
〃	ごみ減量課 係長	日野 篤
〃	ごみ減量課 係長	加藤 智志
〃	環境施設課 係長	近藤 慎治
〃	環境施設課 主任	合田 卓也
〃	総合政策課 主事	大西 剛平

議題	発言者	議事、発言内容
開会	事務局	
座長挨拶	太田座長	
施策体系検討 ワークシート について	事務局	事務局でまとめた施策体系検討ワークシートを各担当課から説明する。
協議		別紙のとおり
その他	事務局	その他の意見等。 ※質疑なし 今回の会議で出された意見を参考に、座長と事務局で施策体系検討ワークシートを完成させる。 完成した施策体系検討ワークシートは、後日改めて委員に配布する。 政策懇談会実施後におけるワーキンググループの開催については、座長に一任、判断していただくこととなる。
閉会	太田座長	

第3回ワーキンググループ協議結果

① 協議（施策体系検討ワークシートの内容項目について協議）。

地球環境

【番号3】

過去に事業所においてノーマイカー通勤デーを実施したが、毎月実施というまでには至らなかった。新居浜の現状を考えると公共交通機関が整っていないなどの根本的な「地域性」の問題があると思うので、項目として含める必要があるのか。

→市としては公共交通との連携が必要と考えている。事業所への働きかけなど、エコ通勤、エコドライブなどの推進もしていく方針。そのため、3番については項目としては残す。

【番号7】

現況を表す指標（基礎データの数値）として、出前講座と講演会などの実施回数を活用してはどうか。

→基準を決めて項目として含める。

生活環境

【番号4】

「新たな浄化槽補助メニューの拡充」については、単独処理浄化槽の処分費用の補助と単独処理浄化槽から合併処理浄化槽転換時の配管工事にかかる補助等を予定しているとのことだが、この項目は「合併処理浄化槽転換への補助」と重複している。順番を「新たな浄化槽補助メニューの拡充」→「合併処理浄化槽転換への補助」とすべきではないか。

→修正を検討する。

公害防止

意見なし。

ごみ・し尿処理

【番号1】

海洋プラスチック問題については、最近の新しい環境問題であると認識している。現状の施策体系検討ワークシートにおいては、「ごみ・し尿処理」の項目として単にごみ処理の問題として扱われているが、そうではなく、「地球環境」のテーマとして扱い、海洋プラスチックごみが発生させないような取り組みを市としても進めるべきではないかと考える。

→市としては環境保全基金を活用し、令和3年度より実施を開始予定である海洋プラスチック事業に充当する方向性である。地球環境のテーマのどこかに「海洋プラスチック」の言葉を入れることを検討する。

【番号3】

1人1日あたりのごみ処理量について、全国と愛媛県が800gほどで、新居浜市は1000gを超えている。
また、リサイクル率についても、全国平均は20.2%で、新居浜市は15%ほどである。
1人1日あたりのごみ処理量については未達成で終わっている。目標値としては、達成ができる現実的な数字を設定すべきではないか。

→目標値の設定に関して、長期総合計画としての設定値となるため、いただいた意見を参考に、市としても検討したい。

【番号10】

共同化、広域化の検討については、災害時の発生土の受入れの問題を考えても、WG「都市基盤」との整合性をとる必要があり、新居浜市独自のスキームを提示する必要があると考える。また、施設の長寿命化についても、番号3のごみ処理の有料化とセットで検討する必要があると思う。

その他意見

■生活環境、公害防止の施策大綱（案）について、「あんしん、きれいなまちづくり」を「あんしん、あんぜん、きれいなまちづくり」に変更してはどうか。ひらがなのままにするか漢字にするかは事務局に一任する。

■施策大綱（案）については、統一感を持たせた形（表現）で検討をさせていただく。

今後の予定

■完成した案については、後日改めて委員には配布する。

■政策懇談会実施後におけるワーキンググループの開催については、座長に一任・判断いただく。